加西家の収支状況

平成17年4月1日～平成18年3月31日

収入の部	年間	1ケ月当たり	支出の部	年間	1ケ月当たり
給料	506万円	42.2万円	消費支出	383万円	31.9万円
副収入	125万円	10.4万円	財産形成支出	71万円	5.9万円
臨時収入	85万円	7.1万円	子どもなどへの仕送り	140万円	11.7万円
前年度からの繰越金	10万円	0.8万円	国債等の購入	76万円	6.3万円
			貯金	4万円	0.3万円
			銀行ローン返済（元金）	82万円	6.8万円
			銀行ローン返済（利子）	20万円	1.7万円
			次年度繰越現金	8万円	0.7万円
収入の部　合計	726万円	60.5万円	支出の部　合計	784万円	65.3万円
貯金のとりくずし	3万円		お金が不足	△58万円	△4.8万円
銀行からの新規借入	55万円				
収入の部　総合計	784万円		支出の部　総合計	784万円	

貯金残高

136万円（16年度末）

1万円

137万円（17年度末）

銀行ローン残高

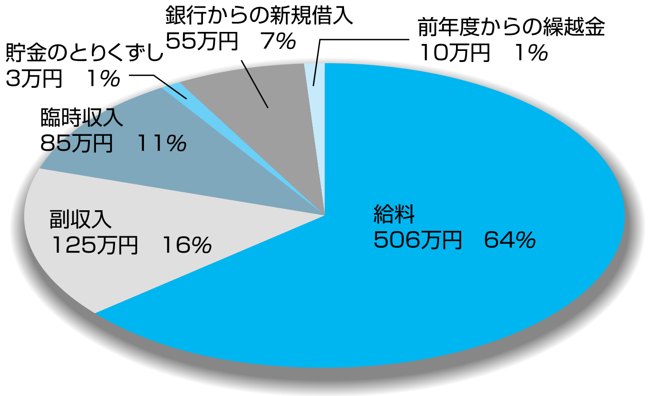
887万円（16年度末）

△27万円

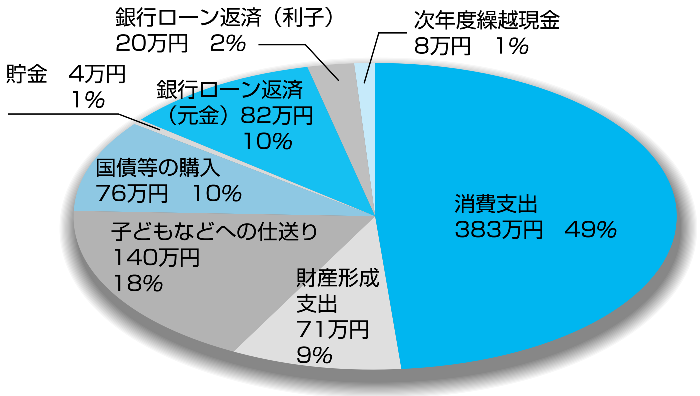
860万円（17年度末）

注1）平成17年度地方財政状況調査（普通会計）を元に一部簡略化して作成しました。
注2）**給料**：市税・地方交付税など、**副収入**：使用料・手数料など、**臨時収入**：国や県の補助金・財産収入など、**消費支出**：人件費・扶助費・物件費・維持補修費など、**財産形成支出**：建設事業など、**子どもなどへの仕送り**：他会計への繰出・公営企業への補助金、**国債等の購入**：投資・出資金・貸付金、**貯金**：基金への積立、**銀行ローン返済（元金）**：地方債元金の返済、**銀行ローン返済（利子）**：地方債利子・一時借入金利子の返済、**貯金のとりくずし**：基金取崩し、**銀行からの新規借入**：地方債を新しく借り入れた額

収入の部　総合計



支出の部　総合計



出)を1/3に減らすことで“加西家”は厳しい家計をやりくりしています。また、子どもなどへの仕送りは、子どもの成長や高齢者が年をとることにより、約2倍近くに膨れ上がり、銀行ローン返済(元金・利子)も11万円増えています。

“加西家”は平成9年度と14年度前後に大規模な家の増築を行ったため、貯金の残高は10年前と比べ17万円(11%)減っています。

さらに、平成7年度722万円であった銀行ローン残高は、平成12年度には1,115万円まで膨れ上がりました（54%増）が、平成13年度にローンの一部を弟(下水道事業会計)が引き継いだことと、将来のローン地獄から脱却するため15年度より銀行からの新規借入金を大幅に減らしたため昨年末では860万円まで減りました。

このように、家計に例えて加西市の財政状況を考えてみましたが、皆さんどう感じられましたでしょうか？

加西家の家計の10年前比較

		7年度	17年度	増減率
収入	給料	459万円	506万円	10%
	副収入	158万円	125万円	△21%
	臨時収入	138万円	85万円	△38%
	前年度からの繰越金	21万円	10万円	△52%
	収入の部　合計	776万円	726万円	△6%
支出	消費支出	402万円	383万円	△5%
	財産形成支出	217万円	71万円	△67%
	子どもなどへの仕送り	77万円	140万円	82%
	国債等の購入	101万円	76万円	△25%
	貯金	9万円	4万円	△56%
	銀行ローン返済（元金）	61万円	82万円	△34%
	銀行ローン返済（利子）	30万円	20万円	△33%
	次年度繰越現金	12万円	8万円	△33%
	支出の部　合計	909万円	784万円	△14%
	収支不足額	△133万円	△58万円	△56%
対応	貯金のとりくずし	22万円	3万円	△86%
	銀行からの新規借入	111万円	55万円	△50%
	合計	133万円	58万円	△56%

年度末貯金残高	154万円	137万円	△11%
年度末銀行ローン残高	722万円	860万円	19%

※平成7・17年度地方財政状況調査（普通会計）を元に一部簡略化して作成しました。

<次回は、子どもなどへの仕送りについて、掲載する予定です。>